

キャラクター名

ルシャ・ボットゥ

プレイヤー名

メインクラス	シーフ	Lv.1:		レベル	6
サポートクラス	レンジャー	Lv.1:	レンジャー	性別	女性
称号クラス				年齢	16歳
種族	ヴァーナ：猫族			境遇	裏切り
出自 (効果)	狩人			目標	人探し

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運	
基本値	9	15	19	6	16	6	9	
ボーナス	3	5	6	2	5	2	3	
クラス修正	1	2	1	0	2	0	0	
他修正								
能力値	4	7	7	2	7	2	3	

HP	63
MP	53
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	フォーリントマホーク	至近/18m	-2	8	0	0	0	-1	0
左手		↑3sq							
頭部	グリーンベレー	<div></div>	1			1			
胴部	フェザーアーマー	<div></div>				9		1	
補助	俊足のブーツ	<div></div>			1	3		1	
装身具	シーフズツール	<div></div>							
能力値			7	0	7	0	2	14	9
スキル									
その他									
総計(右)			6	8	8	13	2	15	9
総計(左)			8	0					
総計(両)									
ダイス数			2 d	2 d	2 d				m

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数	所持品	
トラップ探知	7	1		8	+ 3 d	冒険者セット	
トラップ解除	7	1	1	9	+ 3 d	ハイHPポーション	
危険感知	7	1		8	+ 3 d	ハイMPポーション	
エネミー識別	2			2	+ 2 d	毒消し	
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d	万能薬	
魔術判定					+ d		
呪歌判定					+ d	バックパック	
錬金術判定					+ d		

現在重量：

14

最大重量：

14

所持金：

50

預金・借金：

150

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
アクロバット	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果：猫族、作成時に敏捷基本値に+3								
ワイドアタック	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	命中		
効果：武器攻撃を行う。2体以上を対象に取ったらダメージ+[SLx2]								
インベナム	3	6	効果参照	-	自身	自動		
効果：武器攻撃時、対象にHPダメで[毒(SL)]を与える								
インタラプト	1	-	効果参照	視界	単体	自動	シ・フ・リ・リ	
効果：対象の使用したスキルを打ち消す								
ストライクスロー	5	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：投射による射撃ダメージに+[SLx4]し、射程に+10mする								
ホークアイ	5	3	ムーブ	-	自身	自動		
効果：射撃攻撃のダメージに+[SLx3]。移動するかシーン終了まで持続								
シュアショット	1	4	マイナー	-	自身	自動		
効果：射撃攻撃の命中判定に+1 d し、ダメージに+SLする								
ランナップ	1	3	セットアップ	-	自身	自動		
効果：戦闘移動、あるいは離脱を行う。封鎖時は不可								
ジャッジメント	1	-	戦闘前	視界	場面(選択)	自動		
効果：自身を除く対象の行動値+2。シーン終了まで持続								
ハンティングアイ	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：射撃攻撃のダメ+3								
バインドショット	1	3	メジャー	武器	単体	命中		
効果：射撃攻撃。対象に1点ダメで回避判定-1d								
ファインドトラップ	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：トラップ探知の判定に+1d								
トラッキング	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：足跡、痕跡を元に追跡する【感知】判定に+1d								
リムーブトラップ	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：トラップ解除の判定に+1d								
アンチトラップ	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：罠探知、罠解除、危険感知に+1。罠作動時判定+2								

《設定》

幼いながらもその狩りの腕前は部族の歴史にあって最高、と言われる狩猟民族の女戦士。ある日、奇妙な夢を見た。猫耳の付いていない自分がヒューリンに転生すると言って立ち去るというものだ。翌朝、目が覚めた少女は絶叫した。

「にゃ、にゃんにゃこにゃー！（なんじゃこりゃー！）」

ヴァーナ猫族という言葉ではまないレベルまで身体が猫化していたのだ。

ヒゲと爪が伸び、全身に茶トラ柄の産毛が生え、背中丸まり歩く時は爪先立ち。柑橘類と熱いものが食べられなくなり、常に舌は出っ放しで話せば噛みまくる。ボールを投げられれば飛びつくが、手は肉球になり物が掴み辛い。大きな音に怯え、マタタビに酔い、ドブネズミが美味しそうに見える始末。

い、いかん。きっともう一人の私が離れたのが原因に達しない。奴を探さねば。合体（？）すれば元に戻るはず。

少女は逃げる様に故郷を後にした。

ルシヤ・ボットウ

[illegible][illegible]